

対馬栄輝(著)

「SPSS で学ぶ医療系データ解析」

木村 朗

聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部
(前 SPSS Japan シニアスタシスディン)

一生懸命に患者さんのことを考えて、工夫することは、論文を書くことよりも大切なことかもしれない。患者さんの汗と、時に涙に触れる時、理学療法士という仕事の喜びを感じない訳にはいかない。

コミュニケーションが重要なことには変わらないが、近年、そこで交わされるものの質が変わりつつある。世間一般を見渡せば、財布の中にいくら入っているか分かっていれば、その範囲で安心して食べられる回転ずしが大流行した。それはデータの時代を象徴している。かつて統計は、研究者でなければ行えないほど面倒くさくて、難しいものだった時代が長く続いた。コンピューターの出現は、この手続きを誰でも簡単に、正しく計算できるようにしてくれた。しかし、データの入力方法でつまづく初心者は多く、慣れてくると本当に適切な方法を選ぶための方法を知りたくなる人はとても多い。理学療法の分野に限らず、データの信頼性をどのように表せばよいのか、困っている人は大勢いるのだ。

統計の本には、たくさんの入門書やクッキングブックが存在し、お勧めの1冊を挙げてほしいと問われる

ことがある。

このたび、対馬栄輝先生の手により「SPSS で学ぶ医療系データ解析」が刊行された。数ある統計ソフトウェアの解説書の中では異例のボリュームからなり、中身が濃く、特に多重比較の項目や信頼係数の項目は、本書以上に分かりやすい記述をしている類書はないと思われる。ちなみにこれらの項目は、対馬先生が SPSS に関わる関係者から一目置かれ、よく引用されるテーマでもあることを強調しておきたい。

理学療法学科出身にして、ここまで記述できる理由は、単にデータを扱って統計学を学んだだけではない、臨床の汗と涙の力を持って、統計学の門を叩いたであろう先生のプロフィールに現れていると感じる。今後、さらにボリュームを増やすだけでなく、各手法の適切性が時間の経過の中で評価され、その結果を反映した改訂がなされることも期待したい。

どうしても1冊で統計を学びたいと願う人の要望にかなう、本書の誕生を心から歓迎したい。本書は理学療法も題材にデータ解析手法が網羅されており、理学療法士で、論文を書く人ばかりでなく、読まなければならない人すべてが、統計手法を正しく適応するためにも、是非座右に1冊、お勧めしたい。

●B5 判変形 280 頁

定価 3,360 円(本体 3,200 円+税 5%)

2007 年 東京図書・刊